

## 災害に屈しない強靱な国土づくりに向けて

— 『コロナ克服・新時代開拓のための経済対策』 令和3年度国土地理院関係補正予算 —

国土地理院の令和3年度補正予算案額は、**6,112百万円\***です。

※四捨五入の関係で、各施策の金額の合計とは一致しません。

近年の激甚化・頻発化する自然災害を踏まえ、国民の命と財産を守るべく、災害リスクの明確化や迅速な被災状況の把握が可能となる地理空間情報の整備、災害発生時においても電子基準点網を安定的に運用するための対策を実施します。

### ○地図情報等の整備による被害低減 4,932百万円

災害リスクの把握に資する地形分類情報等の基礎情報や迅速な被災状況の把握に有効な高精度標高データを整備し、住民の防災意識の向上や的確な避難、救助活動の支援等に貢献します。

### ○電子基準点網の耐災害性強化 1,149百万円

電子基準点網における機器の更新等を実施することで、災害発生時でも、地殻変動監視や位置情報サービスの継続を可能とし、国民の安全・安心の確保や迅速な復旧・復興に寄与します。

### ○国土地理院施設の耐災害性強化 32百万円

災害時においても、被災状況を表す地図等の地理空間情報や、地震・火山活動に伴う地殻変動情報を国の災害対策機関や地方公共団体などへ迅速・継続的に提供するため、国土地理院施設の耐災害性を強化します。

参考資料：令和3年度国土地理院関係補正予算

## 地図情報等の整備による被害低減

【4,932百万円】

### 【概要】

地形分類情報や高精度標高データ等の整備を通じて、地理空間情報を活用した災害リスクの明確化や迅速な被災状況の把握が可能となる環境を整えます。

### 【実施内容】

#### ○災害リスクの把握に資する基礎情報の整備

地形を形態や成り立ち、性質等で区分した地形分類情報と、過去の河川や湿地、水田等を抽出した低湿地のデータを整備し災害リスクの明確化を推進



地形分類情報



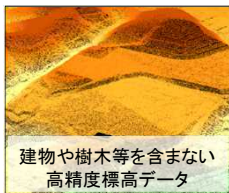
低湿地のデータ

#### ○自然災害への対策に有効な国土の基盤情報の整備

航空レーザ測量の実施や過去の公共測量成果の活用により、浸水想定、盛土抽出、溶岩流推計、津波予測などあらゆる自然災害対策等に有効な高精度標高データを整備



高精度標高データ: 地形や建物等の地物の形状を複数の点で表現したデータ



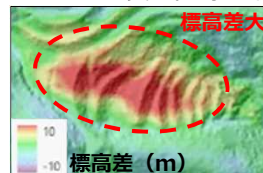
高精度標高データ: 建物や樹木を含まない地形の形状を複数の点で表現したデータ

#### 浸水推定の高度化



建物等の地物をデジタル空間で再現することで、高度な浸水推定が可能

#### 盛土や土砂災害等の状況把握



標高値の差分を取ることで、土砂の変化量を抽出

標高差 (m)

令和3年7月土石流災害 (熱海市)

### 【効果】

- ・住民の防災意識の向上や的確な避難、救助活動を支援し、国民の安全・安心の確保に寄与
- ・迅速な被災状況の把握により、復旧・復興のスピードアップに貢献

## 電子基準点網の耐災害性強化

【1,149百万円】

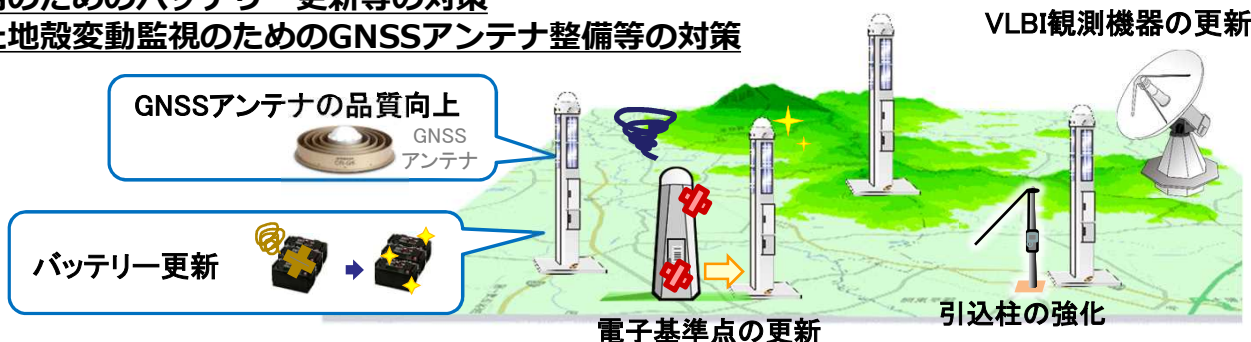
### 【概要】

電子基準点網において機器の更新等を実施することで、災害発生時でも継続して地殻変動監視やi-Constructionによる各種工事が安定して行われる環境を整備します。

### 【実施内容】

#### ○安定運用のためのバッテリー更新等の対策

#### ○安定した地殻変動監視のためのGNSSアンテナ整備等の対策



### 【効果】

災害発生時でも継続して高品質な電子基準点網のデータを取得・提供し、地殻変動監視や位置情報サービスの継続を可能とすることで、国民の安全・安心の確保や迅速な復旧・復興に寄与

## 国土地理院施設の耐災害性強化

【32百万円】

国土地理院施設の豪雨対策等の耐災害性強化を実施し、災害発生時でも国土地理院の機能を維持し、迅速かつ効果的な災害対応を可能とする環境を整備します。